

事業番号	事務事業名	ごみ収集ステーション施設整備費補助金	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
02465	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	環境係	担当者・シート作成者	根本 瑞樹
	施策名	44 循環型社会の形成	根拠法令等	鏡野町ごみ収集ステーション新設要綱 鏡野町ごみ収集ステーション施設整備費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	ごみステーションの新設、修繕、改築等に係る経費を補助する事業。区長申請により補助金交付申請を行っていただき、鏡野町が適当であると認めた場合、交付決定通知を行い、事業完了後は、完了届を提出していただき、担当者が現地確認を行い申請どおりであることを確認した後、補助金の確定通知を行い、補助金を交付する。	平成17年3月の町村合併を機に旧町村において実施していたごみ収集ステーションの補助事業を統合し、開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 世帯数	世帯	見込 実績	5,600 5,576	5,600 5,587	5,600 5,589	5,600	5,600
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 不都合が無く利用できる	ア 相談件数に対する事業実施率	%	目標 実績 達成率	100 50 50.0%	100 75 75.0%	100 100 100.0%	100	100
イ	イ 整備(修繕)したごみ収集ステーション	箇所	目標 実績 達成率	15 1 6.7%	15 3 20.0%	15 4 26.7%	15	15
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア ごみ収集ステーションの施設整備	ア 現地確認回数	回	目標 実績 達成率	15 1 6.7%	15 4 26.7%	15 4 26.7%	15	15
イ	イ 補助金交付件数	件	目標 実績 達成率	15 1 6.7%	15 3 20.0%	15 4 26.7%	15	15
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 02 清掃費		目 01 清掃総務費		予算上の事業名					事業番号
	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	150	150	400	400	400	250	その他特財	150	16	400	400	400	384	
一般財源	450	350	769	0	0	419	一般財源	150	100	287	0	0	187	
合計	600	500	1,169	400	400	669	合計(A)	300	116	687	400	400	571	

財源名称	清掃費雑入 ごみ袋代	従事正職員人数	1	1	1	1	1			
		延べ業務事務時間	20	6	18	18	12			
		人件費計(千円)(B)	68	21	60	60	39			
	最終予算額	1,169 千円	予算執行率	58.7%	トータルコスト(A+B)	368	137	747	460	460

主な支出事業内容(予算)	補助金	1,169 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金	687 千円

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 土地価格の下落などにより、アパートや住宅団地等の造成が進み、ごみ収集ステーションの新設、増改築が進んでいる。 経年劣化、維持管理に伴う塗装のやり替えや修繕などにより修繕とが発している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 特になし。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 特になし。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和四十五年法律第三十七号)第2条の4及び第4条第1項の規定により一般廃棄物の適正な処理に必要な措置を講ずるよう努めることとされている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和四十五年法律第三十七号)第2条の4及び第4条第1項の規定により一般廃棄物の適正な処理に必要な措置を講ずるよう努めることとされている。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	ごみ収集ステーションの整備に関し、清掃等の維持管理は、使用者(地区住民)で対応していただき、新設、修繕及び増築等については、町が助成を行うことで、どの地区でも等しくごみ収集ステーションの整備が進むと考える。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	一部の人口及び世帯数の増加地域で、施設新設、増改築はあるものの、施設数は一定しており、維持管理的な修繕申請がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	施設老朽化等に伴う修繕、改築等が発生した場合、地元負担が大きくなる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	人口減少地域においては、ごみ収集ステーションの統合、廃止の方向で進める。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金のため、削減の余地がないが、人口減少地域においては、ごみ収集ステーションの統合、廃止を進めることで、施設数(約400施設)が減少し、将来係る維持管理費用が削減できる。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	職員が1人が兼務で対応している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	全ごみ収集ステーションを対象としているため、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	一般廃棄物の処理は町の責務であり、行うことが妥当であるが、人口減少しており、現在の施設数(約400施設)を維持する必要があるか、疑問であり、業務の方向性を見直す余地がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 施設の統廃合を進め、施設数の減少させ、維持管理に対する補助金の削減・収集の効率化を行うことで、将来係る経費削減が見込める。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								
利用者の理解と、生活弱者など支援が必要な方への個別収集の実施		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							